



2022年2月14日

各位

会社名 株式会社メニコン
代表者名 代表執行役社長 田中 英成
(コード番号：7780 東証・名証第一部)
問合せ先 執行役 経営統括本部長 渡邊 基成
(TEL. 052-935-1646)

2022年3月期 通期連結業績予想修正に関するお知らせ

当社は最近の業績の動向等をふまえ、2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想について、下記の通り修正の実施を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	99,200	9,000	8,800	5,700	75.42
今回発表予想(B)	99,400	9,600	9,500	6,000	79.36
増減額(B-A)	200	600	700	300	—
増減率(%)	0.2	6.7	8.0	5.3	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	86,209	8,106	8,348	5,952	78.84

(注) 2021年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 修正の理由

当第3四半期連結累計期間までの業績につきましては、コロナ禍においてもコンタクトレンズに対する底堅い需要があることに加え、中国におけるオルソケラトロジーレンズ関連製品の販売がけん引し、売上高は堅調に推移しております。営業利益以下の各段階利益は、販売費及び一般管理費の効率的な使用により、2021年5月13日公表の通期連結業績予想（以下、前回発表予想）に対して進捗率が高く推移しております。第4四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、使い捨てコンタクトレンズ全般の需要が一時的に停滞することが見込まれます。しかしながら、中国においてはオルソケラトロジーレンズの需要の高まりによる同レンズ及びケア用品の販売が堅調なことから、売上高は前回発表予想を上回る見込みです。一方、第4四半期連結会計期間においては、国内における春の最大需要期に向けた集客策の実施による広告宣伝費及び販売促進費の使用や、海外における1日使い捨てコンタクトレンズの販売拡大のための費用の使用を予定しているため、売上高に対する販売費及び一般管理費の割合は高まることが予想されます。以上を勘案し、2021年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたします。

上記の連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は新型コロナウイルス感染症の収束時期等、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上